

# 事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	日常的に運動に親しみ、健康と食に関心が高く、心身ともに健康な地域住民を増加させる。		
	事業名	チャレンジ健康づくり	決算額	87,229円
②	視点	「SLやまぐち号」おもてなしイベントを開催し、地域住民や他地区住民の交流の場として、JR山口駅を活性化する。 ※令和元年度交流促進特別交付金対象事業		
	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	680,939円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加してもらい、地域住民同士の繋がりを深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	265,066円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①今年度も、社会体育部会と地域福祉部会との協働で事業運営を行い、安定した事業展開が図られた。参加者目標50人に対し、35名の受講者があり6名が途中離脱したものの、最終的には29名が当該課程を了した。</p> <p>今後については、従来のチラシ・ポスターに加え、当活動の良さを実感している修了者の口コミを促進する。また、子育て世代にも参加してもらえるよう託児を検討、子ども(小学生を含む)と一緒に出来るメニューを講師に依頼するなど、来年以降も見据え、参加者増につながる施策があれば積極的に取り入れ、受講者の増大を図るべく本事業の周知に努める。</p> <p>またノルディックウォーキングを本事業に統合する。</p>	△
<p>②年当初計画通りに手振りやミニコンサート等のおもてなしイベントを行った。今年度は交流促進特別交付金対象事業として認定されたことから、白石地区のマスコットである「しらっピー」をデザインした特製テントを製作し、来場者、SL利用者等を対象とした「おもてなし広場」を開設した。山口県立大学国際文学部文化創造学科企画デザイン研究室の協力を得て、男性レトロ衣装等を新調した。また、古着を縫製して女性用和服を製作した。</p> <p>カフェの開設により地区住民等来場者がカフェを利用し、交流が図れた。ミニコンサートでは山口駅の利用者や来場者で盛り上がり、プラットフォームでの手振りでは子どもから高齢者まで多くの人々が参集して、SL利用者のおもてなしを行った。</p> <p>今後も継続して、おもてなしイベントを実施すると共に、新たに山口駅構内待合室等において、ちょうちん祭り、祇園祭等伝統文化や明治維新に関わる名所旧跡などの写真展を開催し、白石地区および近隣地域の魅力を発信するなど本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。</p>	○
<p>③【ほたるまつり】</p> <p>実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。</p> <p>【祇園祭】</p> <p>御神輿の担ぎ手等参加者を対象にサランの巻き方教室、終了後には直会を開催し、絆を深めた。</p> <p>【山口七夕ちょうちんまつり】</p> <p>一の坂川沿いにちょうちんツリー45本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち194名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。</p> <p>今後については、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加してもらえるような、より楽しい企画を検討し、実施する。</p>	○

4 総括

交付金の活用によって、専門部会、実行委員会等を中心とした地域課題の解決に向けた取り組みが進んだ。

今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,856,803円
事務局の 運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 適宜、会計管理システムの見直し(バージョンアップ)を行い、当該取扱マニュアル書を適宜改良することにより、会計業務の適正かつ迅速な会計業務を確立した。</p> <p>(今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	228,391円
事業概要	<p>(実施内容) 地域課題の解決に向けて、専門部会運営等参加者を増やす。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 116人</p> <p>(成果) 各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた。</p> <p>(評価) 今年度における専門部会の出席率が88%となり、昨年(90%)と比較して2%減少した。 また、参加人数も昨年と比較して1.7%(2人)増加した。</p> <p>(今後に向けて) 地域の将来像や地域課題解決のための事業を地域住民が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 また、地域づくりに関わる啓発研修会等の開催を企画する。</p>

事業名	広報事業
事業費	1,128,550円
事業概要	<p>(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営、フェイスブック投稿</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 3人</p> <p>(成果) 広報誌全戸配布12回、ウェブサイト更新12回、フェイスブック投稿20回</p> <p>(評価) 広報誌を毎月発行、HPを適宜更新、フェイスブックを投稿するなど、各事業の開催案内・結果報告等掲載し、活動状況の周知が図れた。</p> <p>(今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページの適宜更新、フェイスブックの投稿を行い、情報発信チャンネルを強化する。また、広報委員会の創設を目指す。</p>

事業名	「やまぐちえき」応援イベント
事業費	680,939円
事業概要	<p>(実施内容) SLの乗客や山口駅の利用者を対象に、地域住民が協力して心を込めた「おもてなし」イベントを実施。 今年度もJR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング活動、駅舎内待合室でのコンサートやよさこい等の演舞を開催した。</p> <p>(実施時期) 平成31年4月、令和元年5月、7月、8月、9月、10月、11月、12月</p> <p>(参加人数) 約80～100人(1開催当り)</p> <p>(成果) 手振りやミニコンサート等のおもてなしイベントを行った。白石地区のマスコットである「しらっぴー」をデザインした特製テントを新たに製作し、来場者、SL利用者を対象とした「おもてなし広場」を開設した。</p> <p>(評価) カフェの開設により地区住民等来場者がカフェを利用し、交流が図れた。ミニコンサートでは山口駅の利用者や来場者で盛り上がり、プラットホームでの手振りでは子どもから高齢者まで多くの人々が参集しておもてなしを行った。白石地区における幼稚園、保育園、小学校(なかよし学級)におもてなしイベント開催への参加案内をしたところ、たくさんの来場があった。</p> <p>(今後に向けて) 環境美化活動、観光ボランティア、駅舎内コンサート等を継続して行いたい。新たに山口駅構内待合室等において、ちょうちん祭り、祇園祭等伝統文化や明治維新に関わる名所旧跡などの写真展を開催し、白石地区および近隣地域の魅力を発信するなど深化させ、地域内はもとより他地区交流の礎としたい。 6・10月の観光ボランティアについては、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施する。</p>

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加による親睦イベントとして開催。</p> <p>(実施時期) 令和元年11月17日</p> <p>(参加人数) 約4,000人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦、白石地域交流センターで活動されている団体の紹介、及び地域団体の連携強化が図られた。 また、多くの地区住民が運営スタッフとして参加し、住民主体のイベント運営、地域活動参加のきっかけづくりとなった。小・中学生や高校生もスタッフとして参加され、子どもや学生が地域社会とふれあう機会となった。</p> <p>(評価) 今年度はこれまで課題であった「導線の確保」を重点項目とし、ブースの配置の見直しを行ったことにより混雑が解消され、ブースの 카테고리も統一できた。人の流れに課題のあったyab広場へも人が流れるようになり、エリアごとのお客さんの偏りも解消できた。高齢者の出演者の安全確保のため、ステージ用スロープを制作し、多数の出演者から感謝の声をいただいた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も参加側や運営側の課題に柔軟に対応し、運営の効率を上げ、後世まで持続できる地域祭りとなるようにして行く。</p>

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校グラウンド</p> <p>(実施時期) 令和元年5月19日</p> <p>(参加人数) 1,500人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくりを推進することができた。</p> <p>(評価) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくりを推進することができた。前年結果の検証を行い、変革に取り込んだことにより、スタッフも企画段階より創意工夫し楽しみながら運営していた。</p> <p>(今後に向けて) 参加人数の減少により、町内対抗競技に参加できない地区住民の参加方法の見直しなど、より参加しやすい大会となるよう検討を進める。また、ボランティアスタッフの拡充等で運営スタッフ負担を軽減すると同時に、無駄を省いた効率的な運営を目指していく。</p>

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	150,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①ヴェルテ白石納涼夏祭り②福部童子祭③西惣小さな夏まつり④6町内フェスティバル ⑤もりさま</p> <p>(実施時期) 令和元年7月、8月、9月</p> <p>(参加人数) 約1,000人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまでの世代交流ができた。</p> <p>(評価) 年当初の計画通り、5町内会における親睦会開催を支援した。</p> <p>(今後に向けて) 今後については高齢化、世帯の減少等で単独開催が困難な町内会について、現行開催町内会が近隣町内会との共催を働きかけ、交流の場としたい。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	265,066円
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。</p> <p>【祇園祭】 御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】 一の坂川沿いにちょうちんツリー45本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち194名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。</p> <p>(実施時期) 令和元年6月1日、7月20・27日、8月7日</p> <p>(参加人数) 393人(スタッフ延人数)</p> <p>(成果)</p> <p>【ほたるまつり】 参加者35人。無料休憩所は早い時間から常に満席状態であった。</p> <p>【祇園祭】 参加者131人(御神輿担ぎ手109人、直会98人)</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】 参加者227人(ちょうちんツリー33人、願事短冊194人)</p> <p>※台風の為、7日のみ1日開催となった。</p> <p>(評価) 本事業が地域住民に周知され、多くの参加者があった。願事短冊では昨年と比較して、親子参加者が10人増加した。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>前年度と同様に町内会(地縁団体)からの参加者が少ないことから、町内会連合会を通して単位町内会長へ参加を町内会総会において早期に積極的に要請していく。</p> <p>【ほたる祭り】無料休憩所における机・椅子を拡充する。</p> <p>【祇園祭り】子供神輿、裸坊の警備と練歩きの実施を検討する。</p> <p>【ちょうちん祭り】交通規制の時間を徹底し、安全を確保する。ちょうちん部隊の必要人員を鋭意検討のうえ、募集方法等協議する。</p>

事業名	第3次地域づくり計画策定
事業費	431,333円
事業概要	<p>(実施内容) 各団体から地域づくり計画策定委員の推薦を得て、地域づくり計画策定委員会を設置し、策定委員会を5回、臨時策定委員会を1回開催し、住民アンケート調査票を作成、発出した。</p> <p>(実施時期) 令和元年11月～令和2年3月</p> <p>(参加人数) 策定委員12人</p> <p>(成果) 策定委員会において忌憚のない意見を出し合い、アンケート設問内容が決定した。</p> <p>(評価) 地域づくり計画策定委員会において、全体会議を毎月開催し、地域課題の掘り起こしの手段としてのアンケート設問内容を精査することができた。</p> <p>(今後に向けて) 地区住民を対象としたアンケート調査票の配布、回収およびクロス集計等分析を行い、そこから見えてきた課題を解決すべく、第3次地域づくり計画の策定に生かす。</p>

## (3)地域福祉

事業名	人権啓発活動推進
事業費	25,000円
事業概要	<p>(実施内容) 矢崎節夫氏を講師に迎え、「みんなちがって、みんないい。～みずぶさんのうれし いまなざし～」をテーマに白石中学校全校生徒、地域住民を対象に人権学習講演会を開催。</p> <p>(実施時期) 令和元年9月28日</p> <p>(参加人数) 約400人</p> <p>(成果) 白石中学校の全校生徒に加え、地域住民が参加し、人権の啓発が図られた。</p> <p>(評価) 今年度も地域住民の参加者が減少し、保護者の参加も少なく、周知方法等の課題が 残った。</p> <p>(今後に向けて) 参加呼びかけ等、事前の広報活動を積極的に展開し、地域住民の参加を働 きかけ参加者増を図る。参観日後の講演会であることから保護者にも参加してもらえるよう呼び かけ等を行う。実施時期、講演内容等早めに決定、また地域行事等も把握し、参加者増に向け て再度協議していく必要がある。</p>

事業名	ノルディックウォーキング講習会
事業費	25,140円
事業概要	<p>(実施内容) ノルディックウォーキングの普及やウォーキングマップしらいしの活用を推進するた め専門の講師を招きノルディックウォーキングの講習会やまち歩きを実施。</p> <p>(実施時期) 令和元年10月26日</p> <p>(参加人数) 22人</p> <p>(成果) 今年度も、「健康づくり」「ウォーキング」をテーマとして、チャレンジ健康づくり事業と連 動して開催した。チャレンジ健康づくりの参加者が増えると共にチャレンジ健康づくりのスタッフ も運営に加わったことにより安定した運営を行うことができた。コースについては、ウォーキング マップしらいしのCコース外周(約3km)で実施し、距離も適切、好評であった。</p> <p>(評価) チャレンジ健康づくりのスタッフが運営に参加したことにより、ウォーキング時の随行な ど運営も円滑に行われた。</p> <p>(今後に向けて) チャレンジ健康づくり事業と協働することで成果を得られたので、今後もこの 方向性で充実させていく。コースについても引き続きウォーキングマップを活用する。来年度は チャレンジ健康づくり事業と統合し、継続していく。</p>

事業名	チャレンジ健康づくり
事業費	87,229円
事業概要	<p>(実施内容) 参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月1回のペースで 提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を体感してもら う事業を展開した。</p> <p>(実施時期) 令和元年9月～令和2年2月</p> <p>(参加人数) 29人</p> <p>(成果) 参加者目標50人に対し、35名参加でスタートしたが、6名が途中棄権したものの、最 最終的に29名が修了した。 社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。</p> <p>(評価) チラシやポスターに頼った広報となり、効果が薄かった。当活動の良さを伝えきれな い。</p> <p>(今後に向けて) 今後については、従来のチラシ・ポスターに加え、当活動の良さを実感してい る修了者の口コミを促進する。また、子育て世代にも参加してもらえるよう託児を検討、子ども (小学生を含む)と一緒に出来るメニューを講師に依頼するなど、来年以降も見据え、参加者増 につながる施策があれば積極的に取り入れる。 またノルディックウォーキングを本事業に統合する。</p>

事業名	健康食のおススメ
事業費	58,983円
事業概要	<p>(実施内容) 家族が喜ぶカルシウム料理教室、男性料理教室の開催、「チャレンジ健康づくり」の講座参加者を対象に、健康食の料理教室開催と試食の提供。減塩食レシピを広報誌へ4回掲載した。</p> <p>(実施時期) 令和元年4月、9月、10月、11月、令和2年1月、2月</p> <p>(参加人数) 37人</p> <p>(成果) 今年度は託児を利用した料理教室に15名参加、託児も14名の利用があり昨年を大きく上回り、参加者の意識の高さが伺えた。男性料理教室も昨年と同様の参加があった。</p> <p>(評価) 料理教室開催、広報誌へのレシピ掲載により、適正な塩分量の料理や美味しくカルシウムを摂取できる料理を提案し、地区住民の健康増進に役立つことができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度は、減塩料理、生涯骨太を目指したカルシウムクッキングに加え、郷土料理を行う。          広報誌に健康食レシピを掲載紹介し、健康に役立つ料理を提案したい。          料理教室の参加者を増加させるため、周知に努める。          また、来年度も子育て世代の方にも安心して料理教室に参加してもらえるよう、託児所を開設し、PRをしていく。          より多くの地域住民の「食」に対する意識を高めるため、「チャレンジ健康づくり実行委員会」と協働で、料理教室の開催を検討する。</p>

事業名	グラウンドゴルフ大会開催事業
事業費	66,690円
事業概要	<p>(実施内容) グラウンドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 令和元年6月、10月、11月、令和2年1月</p> <p>(参加人数) 68人</p> <p>(成果) 今年度も春季、秋季、地域づくり会長杯の3大会を開催した。準備、運営はグラウンドゴルフ実行委員会が中心となって実施した。</p> <p>(評価) 各大会の参加者が着実に増加し、昨年や目標値を上回る参加者を得ることができた。</p> <p>(今後に向けて) 実行委員会のメンバーも増加しており、参加者増に加えて、大会の運営も安定してきている。(なお、定例練習日を週1回から週3回に増やした)</p>

事業名	むかし遊び
事業費	10,694円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校と連携して、新入生(1年生)を対象として実施。</p> <p>(実施時期) 12月12日(木)</p> <p>(参加人数) 41人</p> <p>(成果) 今年度は民生・児童委員の協力で41名の参加者があり、昨年度同じ人数だった。高齢者と1年生の楽しく充実した交流が図れた。</p> <p>(評価) 福祉部会員、民生児童委員、近隣住民の協力があり、各遊びの責任者となってもらいスムーズに運営できた。また他地区から1名の参加もあった。学校側がクラスごとに回る順番を決めていたので子ども達の移動はスムーズだった。</p> <p>(今後に向けて) 今年度は町内会に回覧をせず電話等で募集をし、参加者を募った。種目の場所を再度検討し、安全面を考慮する。</p>

## (4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果)該当事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実させたい。</p>

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果)該当事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をしていく。</p>

事業名	自主防災モデル事業
事業費	95,560円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災勉強会等開催。 山口県自主防災アドバイザー養成研修を受講、資格試験受験、防災士資格取得。</p> <p>(実施時期) 令和元年4月～令和2年3月</p> <p>(参加人数) 22名</p> <p>(成果) 今年度新たに1名が防災士資格取得者となり、白石地区の防災士資格取得者は22名となった。 令和元年3月8日(日)に、新道、上清水、中讃井、西門前、新橋、荒高、早間田、米屋町町内会で合同の防災実働訓練を行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染症拡大予防のため、延期となった。</p> <p>(評価) 新たに米屋町・早間田が自主防災(防災実働)訓練に参加予定だったが未実施となった</p> <p>(今後に向けて) 自主防災訓練に参加意向の町内会はもとより、その他の町内会を対象として、地区防災士による防災講座を開催する。 実行委員会を毎月1回(第一火曜日)定例開催する。</p>

事業名	夏休み防災訓練キャンプ
事業費	38,913円
事業概要	<p>(実施内容) 消防分団が講師となつての水消火器による消火訓練。着衣水泳体験(赤十字山口県支部講師による指導)。体育館での宿泊体験(寝床づくり、ラジオ体操、負傷者救出訓練など)。給水車による給水(上下水道局)、火起こし体験、非常食体験。</p> <p>(実施時期) 令和元年7月27日</p> <p>(参加人数) 14名</p> <p>(成果) 昨年度は暑さのため中止となり、今年度も暑さ指数に配慮しながらの開催となった。また、祇園祭と同日開催となり、デイキャンプでの開催となった。</p> <p>(評価) 救命講習やバケツリレーを取り入れることで内容を充実させ、子ども達が自助、共助の精神をキャンプ全体を通して意識することができた。</p> <p>(今後に向けて) 学年の幅を広げたり、親子参加にすることも検討していく。</p>

事業名	安全パトロール事業
事業費	25,892円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 37人</p> <p>(成果) 児童の通学時における安全確保を目的に学校とボランティアの連携が図られた。</p> <p>(評価) パトロール要員が昨年と比較して2名減少したが、協力のおかげで児童の事件事故の被害事案はなかった。</p> <p>(今後に向けて) より安心・安全な町づくりのために、パトロール要員の増員を図っていく必要がある。広報誌等を通じて募集する等再度検討し、誰でも気軽に参加できるような仕組みをつくり、参加人員を拡大していきたい。</p>

(5)環境づくり

事業名	五十鈴川を守る会
事業費	75,248円
事業概要	<p>(実施内容) 五十鈴川河川の美化作業(草刈等) 河川長 約1,000m</p> <p>(実施時期) 令和元年9月1日</p> <p>(参加人数) 160名</p> <p>(成果) 公用車(軽トラック)の集積応援があり、民・官協働作業で効率化が図れた。</p> <p>(評価) 白小PTA・付属小PTA・近隣住民・市役所の協働による環境美化が図れた。また、作業範囲を5グループに分け、チームリーダーの指示も的確であった。本部より進行状況を把握し、他グループへの応援体制も組めた。清掃機材・清掃用具は他地区(宮野自治会)・白石小学校から借り受けた。</p> <p>(今後に向けて) 参加者名簿から草刈り機使用者を事前に選定することや、作業日程については白石小PTAおやじの会等と親子清掃日に合わせて実施できるように事前協議を行う。</p>

(6)地域個性創出

事業名	お宝写真展
事業費	60,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石の自慢できる風景や白石の歴史がわかる写真を募集し、大いちょうバザール・白石フェスティバルにおいて写真展を開催した。</p> <p>(実施時期) 令和元年7月～11月</p> <p>(参加人数) 20人</p> <p>(成果) 昨年に引き続き、大いちょうバザールや白石フェスティバルにおいて写真展を開催した。</p> <p>(評価) メールによる募集を行い、手軽に応募できて好評だった。良い作品が集まったが、児童の作品がもう少し欲しい。</p> <p>(今後に向けて) 募集開始が遅かったので、夏休み前から児童・地域住民に周知できるように早めに取り組み、数回のアナウンスを実施するよう努めたい。</p>



事業名	白石歴史探訪の会
事業費	373,350円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会、広報誌およびHPにコラム掲載。5年間のコラムをまとめて冊子を作成。史跡巡りを実施。</p> <p>(実施時期) 平成30年4月～令和2年3月</p> <p>(参加人数) 136人(延べ人数)</p> <p>(成果) 講演会・広報誌へのコラム掲載・史跡巡りにより幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。</p> <p>(評価) 講演会・広報誌へのコラム掲載は好評であった。広報誌掲載コラム(全58回)を編集し冊子化した。広報誌掲載コラムは新連載をスタートさせた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も、コラム掲載を引き続き実施し、幕末維新史跡マップを活用した維新探訪ウォーキングも実施する。講演会は昨年度より2回増え、6回開催する。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。

# 令和元年度収支決算

## 収入の部

(単位：円)

地域づくり交付金	8,548,748
交流促進特別交付金	630,000
山口線SL運行対策協議会補助金	80,000
参加料	25,000
預金利息	33

## 支出の部

(単位：円)

協議会運営	4,856,803	事務局長給与、事務局員給与、事務費	
事業費	地域振興分野	3,484,279	地域づくり活動参加促進、広報活動、第3次地域づくり計画策定、「やまぐちえき」応援イベント、白石地区町内親睦大運動会開催支援、白石フェスティバル開催支援、町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進
	地域福祉分野	273,736	人権啓発活動推進、ノルディックウォーキング講習会開催、チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会
	安心・安全分野	160,365	危険防止看板設置等、反射鏡設置等、自主防災組織モデル、夏休み防災訓練キャンプ実施、安全パトロール
	環境づくり分野	75,248	五十鈴川を守る会
	地域個性創出分野	433,350	お宝写真展、白石歴史探訪の会
	4,426,978		